

さとうきび農家の皆様へ

「サトウキビ黒穂病にご注意！」

サトウキビ黒穂病とは？

- ・ さとうきびの先端から、黒いカビの胞子がついた穂が出てくる病気
- ・ カビの胞子は風で飛散し、周囲のさとうきびにも伝染します。
- ・ 5～6月に多く発生します。
- ・ 株出し回数が増えるにつれ発病は増えます。
- ・ 発病した茎は枯れます（＝減収します）



(黒穂の出穂)

サトウキビ黒穂病の防除方法

- ・ 発病株にビニールをかぶせて株を抜き取り、畑の外で処分する。
- ・ 病気を拡散させないために、黒穂が出る前に茎を抜き取る。
- ・ 発病株が多い畑は更新する。



(袋をかぶせて抜き取る)



【感染していない茎】



【黒穂が出る前の茎】

黒穂が出る前の茎は、ススキの様に細く高く伸びます

サトウキビ黒穂病を出さないためには？

- ・ 株出し回数が多い畑は、黒穂が発生していないか、特に注意する。
- ・ 植付用の苗は、黒穂病が発生した畑からは採苗しない。
- ・ 畑の一部を種苗ほとして準備し、工場が配布する無病苗を増殖する。

○問合せ先

北部農林水産振興センター農業改良普及課伊是名駐在
伊是名村役場農林水産課
JAおきなわ伊是名支店製糖工場
沖縄県病害虫防除技術センター

TEL:0980-50-7009
TEL:0980-45-2004
TEL:0980-45-2908
TEL:098-886-3880